



枕崎へようこそ ピンタを豪快にガブッ ～かつおのピンタ料理で転入教職員を歓迎

立神小学校に赴任された先生たちを『かつおのピンタ料理』で歓迎する恒例の立神小学校PTA主催による歓迎会が4月15日、大塚公民館で行われました。

赴任された5人の先生の前に『かつおのピンタ料理』が出されると、指南役の宮路益雄さんが軽快な口調で食べ方を指導。全員手づかみで豪快にガブッとかぶりつき、枕崎の伝統料理をたっぷり味わっていました。



日本一の枕崎鯉節パワーで日本一目指して ～福岡ソフトバンクホークスに枕崎鯉節を贈呈

枕崎水産加工業協同組合(西村協組合長)が4月23日、鹿児島市の鴨池球場で行われたプロ野球公式戦、福岡ソフトバンクホークス対千葉ロッテマリーンズの試合を前に、ホークスの選手会会長を務める本県出身の川崎宗則選手に『枕崎鯉節の本枯れ節』を贈呈しました。また、入場者に枕崎鯉節5,000パックを無料配布するなどPR活動を行いました。

大空に元気に泳ぐかつおのぼり

～新1年生がかつおのぼりを掲揚

かつおのぼりの掲揚が4月19日、市役所玄関前で行われ、枕崎小学校の新1年生27人が参加しました。このイベントは、枕崎の水産業の振興を祈願し、かつおまつりを盛り上げるとともに、子どもたちの健やかな成長を願って平成11年から毎年行われています。

児童らは、こいのぼりの歌ならぬかつおのぼりの歌を元気に歌いながらロープを引っ張り、大小16匹の鯉のぼりを掲揚しました。

籠原大和くんは「ロープを一生懸命引っ張ったらかつおが上がっていった。楽しかった」と話してくれました。



『枕崎愛マーク』がテントに

～枕崎愛を育てる会がシール売上げ金でテントを寄贈

異業種交流会『結の会枕崎』の有志でつくる『枕崎愛を育てる会(實吉国盛代表)』が枕崎愛マークステッカーの売上金の一部から枕崎愛マーク入りテント1張りを市に寄贈しました。

このほか、市への寄付金と転出する先生に渡す愛マークステッカー80枚の贈呈もありました。温かいお心ありがとうございました。



海山の恵を堪能 白沢の魅力を紹介

～観光ボランティアガイドによる白沢ツアー

枕崎市観光協会が委嘱している枕崎市観光ボランティアガイドが企画した白沢ツアーが4月17日に行われ、市内外から26名の老若男女が参加しました。昨年発足した同ボランティアガイドがツアーを企画するのは今回が初めてのことで。

午前中はボランティアガイドの説明で白沢神社や白沢津港など集落内を散策し、午後からは貝やツワを探るなど、海山の恵を存分に堪能しました。

帰りはJR白沢駅から最南端終着駅『枕崎駅』まで約10分の電車旅を楽しみました。参加者からは「海山の自然溢れる白沢で楽しい一日が過ごせた。次回もまた参加したい」といった感想が聞かれるなど、ツアーは大好評でした。



鹿児島水産高校の生徒が集団献血

～第27回ハート献血・骨髄バンク登録

枕崎青年会議所が主催する『第27回ハート献血・骨髄バンク登録』が4月15日、市役所やA南さつま枕崎支所など5か所で行われ、合わせて236人が協力しました。

このうち、鹿児島水産高校での集団献血では、今年4月から、400cc献血の年齢制限が18歳以上から17歳以上(男性に限る)に引き下げられたことで、高校生35人が協力。折口貴洋くん(3年)は「初めての献血に緊張したけど痛くなかった。人のために役立てていると感じた」と話してくれました。



戦没者を慰霊 恒久平和を願う

～海上特攻第二艦隊戦没者追悼式

戦艦大和をはじめとする第二艦隊の追悼式が4月7日、平和祈念展望台奉賛会(畠野宏之会長)の主催により、火之神公園内にある平和祈念展望台で行われ、全国から参加した遺族など合わせて約500人が参列し、戦没者への



追悼文を読み上げる平瀬幸彦くん

思いを胸に、献花を行い冥福を祈りました。

式では、鹿児島水産高校3年の平瀬幸彦くんが平和への祈りを込めた追悼文を読み上げたほか、市内アカバラグレープLpsの田畑佳代さんがこの日のために作詞作曲した慰霊歌『海からの祈り』の披露もありました。



参列者をきれいな公園でお迎え

～ハーモニネットワークなど火之神公園を清掃

海上特攻第二艦隊戦没者追悼式の参列者を気持ちよく迎えようと、まくらざきハーモニネットワーク委員会(片山弘子会長)などによる火之神公園一帯のボランティア清掃が4月2日に行われ、同委員会の会員をはじめ、市民や市職員など約50人が参加し、草刈りやゴミ拾いなどに汗を流しました。

また、同委員会は追悼式当日、茶節や腹皮のから揚げを参列者にもてなし、とても喜ばれていました。



We LOVE MAKURAZAKI 投稿をお待ちしています。画像と名前(フルネーム)を添えて投稿してください。総務課秘書広報係 E-mail: hisyokoho@city.makurazaki.lg.jp